

中部サイエンスネットワーク 第1回防災・減災ワークショップを実施しました(2019/7/25)

テーマ：逃げる行動、科学と生活

場所：三重大学三翠ホール

2018年1月に災害科学国際研究所と連携協定を締結した（公財）中部科学技術センターと三重県環境学習情報センターとの三者が主催した『第1回防災・減災ワークショップ』が、三重大学三翠ホールにおいて7月25日に開催されました。

第一部「聞いて学ぼう」では、当研究所 地震津波リスク評価(東京海上日動) 寄附研究部門の保田真理プロジェクト講師から東北大学減災教育「結」プロジェクトの中から津波のメカニズムについて、三重大学 水木千春准教授から三重県の災害に関して講話がありました。第二部では、「コンソートの裏側の世界」「地震シェルターって何」「ロープワークや避難した後も元気に過ごすために」などのコーナーや「防災・減災スタンプラリー」を体験しました。

第三部では、講座全体から学習したことを振り返り、自分でできると考えたことや周囲と助け合いたいこと、国などにやってもらいたいことをグループで話し合い、グループごとにプレゼンテーションを行いました。50名の児童や生徒を含む115名が参加し、防災減災、家族の安全対策などについて、自分たちの視点でじっくり考えるイベントとなりました。



講義風景



グループワーク風景



プレゼンテーション風景



グループワーク風景

文責：保田真理（寄附研究部門）